

がん治療の新たな方向性がここに！

# 抗がん漢方の研究成果発表、 各国医師・専門家から高い評価

新しいがん治療として注目を集めるホリスティック医療に、また新たな方向性が開きつつあります。8月、台湾・台北市の台北シエラトンホテルで、2008アジア「天仙液(複方漢方THL)」に関する国際研究討論会が開催されました。台湾をはじめ、日本、香港、フィリピン、タイ、マレーシアの医師・専門家による天仙液に関する研究報告が行われ、日本から出席した帯津良一先生の講演も注目されました。



各国の医師・専門家と並んでのディスカッション

## がん治療の権威による講演

研究討論会では、ホリスティック医療によるがん治療や抗がん漢方・天仙液の研究成果の報告を中心に、各国の医師・専門家とよって、がん治療に関する意見交換が行われました。台北医大、台湾大学など、がん研究の国際的権威機関からの参加者とともに、日本からは、帯津三敬病院院長・日本ホリスティック医学協会会長の帯津良一先生が参

加。がん治療に新しい方向性を示すと注目されている中国漢方医学と西洋医学のそれぞれの長所を取り入れた医療への提言が、大きな注目を集めました。

## 帯津先生の講演内容(要約)

人間は、体と心と命でできています。英語で言えばBody, Mind, Spirit。ホリスティック医学は、それらを一体にして、人間を丸ごと捉えるもの。がんのように、体だけでなく心や命に深くかかわる病は、西洋医学以外に、根本的な命、生き方などについても考えなければいけません。私が今の病院で26年間やっているのは、一人一人の患者さんに重ね合わせて体・心・



帯津良一(おびつ・りょういち)

帯津三敬病院名誉会長、日本ホリスティック医学協会会長。1936年、埼玉県生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士。東京大学第三外科、都立駒込病院外科医長を経て、82年に帯津三敬病院、05年に帯津三敬整クリニクを設立。中西統合医療を実践し、ホリスティックなアプローチによるがん治療の草分けであり、世界的権威として知られる。西洋医学はもともと、様々な治療法を実践。漢方薬、ホメオパシー、気功、鍼灸、食事療法、心理療法、健康補助食品などの代替医療を積極的に取り入れていた。帯津三敬病院は、がん治療に中西統合医療、代替療法、漢方療法などを積極的に取り入れ、ホリスティックなアプローチによる病院として注目されており、全国からがん患者が来院することも知られる。

<http://www.obitsu.com/>

命にはたらきかけ、人間を丸ごと捉えるもの。戦略的に一人一人の人に合った方法を、話し合いながら作っていく。様々な代替療法を取り入れていく中で、がん治療の中心的な役割を果たすのに使っているのが中国医学です。漢方薬、針灸、養生、気功の4本柱があり、漢方薬は重要な位置を占めています。患者さんごとに合わせて、色々生薬を組み合わせで出している。中でも、天仙液のような、しっかりとした組み合わせができてきているのは、患者さんのニーズも高いです。

西洋医学が、治るかわからないかの結果しか求めないのに対して、漢方薬は心・命にはたらきかけて命のレベルを、一步一步前進させるもの。医療にはエビデンスが大事ですが、心・命がかかわるものはエビデンスがそれだけではありません。食べる、こと、運動することなど、人間の基本的なところから説いていき、そこをサプリメントを加える。そんな積み重ねが大事なのです。



台湾民主記念館での中華国際癌病回復協会主催・2008がん友の会では気功実演も行った帯津先生



▶出席の医師・専門家  
台湾大学医学院・王萬源教授、台北医科大学・鄧文輝教授、台湾國家衛生研究所・賴基銘教授、香港大学中医学部・施祖榮教授、帯津三敬病院・帯津良一医師、タイ・オンコロジー大学・Narin Voravudh教授、沙龍董綜合醫院・廖勝源醫師(研究報告発表席)

取材協力・問い合わせ先

漢方健康ネットワーク ☎03-5785-2279 FAX03-5785-2224  
<http://www.kenko-network.jp>

抗がん漢方薬「天仙液」を含めた漢方と健康情報を提供。がんに関する最新情報や、「天仙液」の最新情報の提供も行っている。

天仙液

検索